

残留農薬検査(その2)

当所では、横浜市内に流通する農作物や食肉等の食品に残留する農薬について検査を行っています。今回は平成20年6月から10月の期間に行われた検査結果を報告します。

1 国内産農作物

国内産農作物の検査は今年度2回目の実施となりました。今回は、8月に食品専門監視班によって搬入されたピーマン、かぼちゃ、もも、ぶどう(各3検体)の計12検体について約90項目の残留農薬検査を行いました(表1)。

その結果、ピーマン1検体からクロルフェナピルが0.04ppm検出され、ぶどう1検体からクレソキシムメチル0.09ppm、他のぶどう1検体からペルメトリン0.16ppmがそれぞれ検出されました。ただし、すべて残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした(表2)。

2 輸入農作物

昨年度千葉・兵庫両県で発生した『中国産冷凍ギョウザが原因と疑われる健康被害事例』を受けて、今年度は冷凍農作物を対象に実施しました。7月に食品専門監視班によって搬入された赤ピーマン(2検体)、ほうれんそう、さといも及びいんげん(各1検体)の計5検体について約90項目の農薬検査を行いました(表1)。

その結果、赤ピーマン1検体からクロルピリホスが0.03ppm検出されました。ただし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした(表2)。

3 市内産農作物

横浜市内で生産されている農作物(横浜ブランド『はま菜ちゃん』)の検査は今年度2回目の実施となりました。今回は、7月に食品専門監視班によって搬入されたじゃがいも、なす、きゅうり及びトマト(各2検体)の計8検体について約90項目の農薬検査を行いました(表1)。

その結果、なす1検体からテブフェンピラドが0.13ppm検出されました。ただし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした(表2)。

4 福祉保健センター独自事業(茶等)

今年度のセンター独自事業は、茶等について重点的に実施しました。6月に西福祉保健センターによって搬入されたハーブティー(ペパーミント及びカモミールの各1検体、計2検体)、ほうじ茶、番茶及び烏龍茶(各1検体)の計5検体について約90項目の農薬検査を行いました(表1)。

その結果、番茶からアセタミプリド0.39ppm、クロルフェナピル0.01ppm及びテブコナゾール2.7ppmが検出されました。ただし、すべて残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした(表2)。

5 輸入豚肉

9月に食品専門監視班によって搬入された輸入豚肉10検体の脂肪部位について5項目の有機塩素系農薬(総BHC、総DDT、エンドリン、ディルドリン(アルドリンを含む)及び総ヘブタクロル)の検査を行いました。

その結果、すべての検体から農薬は検出されませんでした(表2)。

表1 農作物、茶等の検査項目及び検出限界(92項目)

農薬名	検出 限界 (ppm)	農薬名	検出 限界 (ppm)	農薬名	検出 限界 (ppm)
有機リン(P)系農薬(38)			有機塩素(Cl)系農薬(16)		
EPN	0.01	テルブホス	0.005	BHC(α 、 β 、 γ 及び δ の和)	0.005
イソフェンホス	0.01	トルクロホスメチル	0.01	γ -BHC(リンデン)	0.002
イプロベンホス	0.01	パラチオン	0.01	DDT(DDE,DDD,DDTの和*)	0.005
エチオン	0.01	ピペロホス	0.01	アルドリン及びディルドリン	0.005
エトプロホス	0.005	ピリダフェンチオン	0.01	エンドスルファン (α 及び β の和)	0.005
エトリムホス	0.01	ピリミホスメチル	0.01	エンドリン	0.005
カズサホス	0.01	フェントロチオン	0.01	クロルフェナピル	0.01
クロルピリホス	0.01	フェンクロルホス	0.01	クロルフェンソン	0.01
クロルピリホスメチル	0.01	フェンスルホチオン	0.01	ジクロラン	0.01
クロルフェンビンホス	0.01	フェンチオン	0.01	ジコホール	0.01
シアノフェンホス	0.01	フェントエート	0.01	テトラジホン	0.01
シアノホス	0.01	ブタミホス	0.01	トリアジメホン	0.01
ジオキサベンゾホス	0.01	プロチオホス	0.01	プロシミドン	0.01
ジクロフェンチオン	0.01	プロパホス	0.01	プロピザミド	0.01
ジメチルビンホス	0.01	ホサロン	0.01	ブロモプロピレート	0.01
ジメトエート	0.01	マラチオン	0.01	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005
スルプロホス	0.01	メチダチオン	0.01		
ダイアジノン	0.01	メチルパラチオン	0.01		
テトラクロルビンホス	0.01	メビンホス	0.01		
窒素(N)系農薬(25)			ピレスロイド(Py)系農薬(13)		
アセタミプリド	0.01	ピリプチカルブ	0.01	アクリナトリン	0.01
イソプロカルブ	0.01	ピリプロキシフェン	0.01	シハロトリン	0.01
エスプロカルブ	0.01	ピリミノバックメチル	0.01	シフルトリン	0.01
カフェンストロール	0.01	フェナリモル	0.01	シペルメトリン	0.01
クレソキシムメチル	0.01	ブタクロール	0.01	テフルトリン	0.01
クロルプロファミ	0.01	フルジオキシソニル	0.01	デルタメトリン及びトラロメトリン	0.01
シメトリン	0.01	フルトラニル	0.01	ハルフェンプロックス	0.01
チオベンカルブ	0.01	プロメカルブ	0.01	ピフェントリン	0.01
チフルザミド	0.01	ヘキサコナゾール	0.01	フェンバレレート	0.01
テトラコナゾール	0.01	ペンコナゾール	0.01	フェンプロバトリン	0.01
テブコナゾール	0.01	メトラクロール	0.01	フルシトリネート	0.01
テブフェンピラド	0.01	メトリブジン	0.01	フルバリネート	0.01
トリアジメノール	0.01			ペルメトリン	0.01

*DDTはp,p'-DDE,p,p'-DDD,o,p'-DDT及びp,p'-DDTの和

表2 農作物、茶等及び輸入豚肉の残留農薬検査結果

(H20年6月～10月)

農作物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
国内産農作物						
ピーマン	国産	3	1	クロルフェナピル	0.04	1
かぼちゃ	国産	3	0			
もも	国産	3	0			
ぶどう	国産	3	1	クレソキシムメチル	0.09	15
			1	ペルメトリン	0.16	5.0
輸入農作物						
赤ピーマン	ポルトガル	2	1	クロルピリホス	0.03	0.5
ほうれんそう	中国	1	0			
さといも	中国	1	0			
いんげん	タイ	1	0			
市内産農作物						
じゃがいも	横浜市	2	0			
なす	横浜市	2	1	テブフェンピラド	0.13	0.5
きゅうり	横浜市	2	0			
トマト	横浜市	2	0			
茶等						
ペパーミント	国産	1	0			
カモミール	国産	1	0			
ほうじ茶	国産	1	0			
番茶	国産	1	1	アセタミプリド	0.39	50
				クロルフェナピル	0.01	50
				テブコナゾール	2.7	30
烏龍茶	国産	1	0			
輸入豚肉						
脂肪部位	アメリカ	3	0			
	カナダ	1	0			
	デンマーク	3	0			
	ハンガリー	1	0			
	メキシコ	2	0			

【 微量汚染物担当 】